



OMI KYODAI SHA

信愛館だより

みよ、兄弟達が一つになって共に住むことは、(特篇133の1)
なんとというしあわせ、なんとという楽しさであろう

Vol. 150

2026年1月号

発行/ケアハウス信愛館
近江八幡市北之庄町492-2
TEL/0748-32-2220
FAX/0748-33-7555
<http://www.shinaikan.com>
Mail/vories@zb.ztv.ne.jp

「楽しく 喜びの多い一年を」

社会福祉法人近江兄弟社地塩会

理事長 亀山 謙四郎

新年明けましておめでとうございます。

この年も「新たな始まりの時」を与えられましたことに感謝をし、今年も、(前年と同様)ではなく、更に様々な工夫を以って住み易さ、環境の良さを求めたいと思います。この館の住人の方々と共に知恵と力を合わせられれば幸いです。

この年も「時」を大切にせず無駄なく、楽しく、喜び多く過ごしたいものです。

若い頃は毎日がゆっくりですが、ある程度の「齢」を重ねると、どんどんそれが早くなり、ある時驚くほど老いていることに気がきます。私もそのうちの一人です。入居者の方々の中にも同じ思いの方が何人もおられるかも知れません。

ある国ではその一生を四つに分けるという考え方がありますが、その後半に

「林住期(りんじゅうき)」—社会での役割を果たし終え、自らの歩んできた道を振り返り、自己の内面と向かい合う時期とあります。

信愛館の住人の方々と共に私もその時期であるとすれば、

振り返る道の中にその歩みが全て正しかったのか、或いは不足するものは無かったのか等を思う時、私などは、ただただ恥ずかしい思いしかありません。

しかし、ただそのような事を悔いるだけで終わるのではなく、ある程度身体も動き、頭も働いていけば、まだその不足を補うこと、間違っていたことに詫びる事は出来ます。

今まだ、この時に出来る事は必ずあります。私も間違いの多かった様々な事への償いを、あるNPO法人の活動の中に僅かな支援という形で、その活動に加えさせて頂いています。本当に僅かな事ですが、長く続けることによって少し大きな喜びを人に覚えて頂けることを願っています。

また、悔いることのない道を歩んできた人も、人の助かること、喜ばれることを新たに見つけてゆく様な一寸した行動が、自らに更に喜びの多い時間を持つことになるのではないのでしょうか。

私達の館内にもその様な行動、思いが拡がることを願います。それによって、冒頭の楽しく、喜び多く、明るい毎日の生活を送って頂ければ、お世話をする人達も喜びの中で働けることでしょう。

本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

感謝



キリスト教 あいうえお (2巡目) — 「ナザレ」

近江金田教会牧師 横田 明 典

クリスマスに生まれたイエス・キリスト。聖書によれば生まれたのは都であるエルサレム近くのベツレヘムですが、元々はガリラヤ地方のナザレという村が実家のようなようです。マタイによる福音書には「ナザレという町に行って住んだ」と書かれていますし、「ナザレのイエス」と呼ばれることもしばしばあります。

ガリラヤにしてもナザレにしても、都から距離が離れ、人々からは評価されるような地域ではありませんでした。「ナザレから何か良いものがでるだろうか」とも言われていたりしていました。当時は出身地や家系などが重要視されており、イエス自身もどちらかというとならぬような出自であったといえます。

そのナザレのイエスが、救い主であると、聖書は伝えているのです。立派な血筋や有名な土地で生まれたのではなく、むしろ無名の地方都市で、そして貧しい生活の中で救い主が生まれたのです。

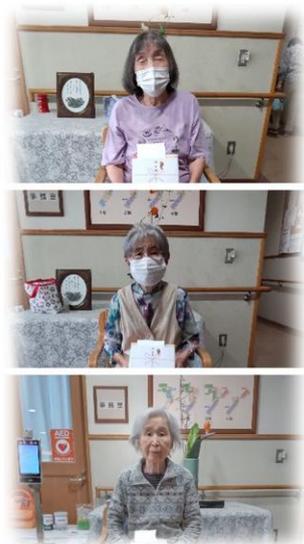
ナザレのイエスはその後も社会の中で抑圧され、貧しく小さな存在とともに生き、この人たちがこそが救われるという神様のメッセージを伝え続けました。

ケアハウス信愛館の日常

◆ 敬老の日 ◆



職員一同から
心ばかりのプレゼント。
皆様の笑顔が素敵です。



米寿を迎えられた方が
3名いらっしゃいました。
誠におめでとうございます。

◆ 文化祭 (11月1日~8日) ◆



今年も入居者の皆様方の力作が並びました。毎年ながら感心させられます。

日頃の努力や創造意欲が感じられる作品ばかりで、文化の豊かさを改めて感じる事ができました。

◆ びわ湖テラスツアー ◆



空中に浮かぶような展望台からびわ湖が一望できてとても素敵なところでした。「行ってよかった。すごくきれいでした」とお喜びの感想でした。

◆信愛館周りの紅葉◆



毎年、信愛館の中や外から美しい紅葉を鑑賞することができます。



◆クリスマスのイベント◆



12月12日クリスマス祝会

今年もたくさんのクリスマス飾りと豪華なメニュー(手作り)でクリスマスを迎えることができました。



編集後記



新年あけましておめでとうございます。旧年中は多くのご支援とご愛顧を賜り、心より感謝申し上げます。本年も皆様にとって素晴らしい一年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

今年も心待ちにしていだけるような信愛館だよりを、編集員一同心を込めてお届けいたします。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

(感謝)